

えびな生きもの大調査 2021

調査報告書



目 次

- 1 えびな生きもの大調査 2021 について……………P1**
- 2 えびな生きものマップ 2021……………P2**
- 3 生物多様性とSDGs……………P3**
- 4 在来種と外来種……………P4**
- 5 海老名市内で発見された主な外来種……………P5～6**
 - ・オオキンケイギク
 - ・アメリカザリガニ
 - ・ガビチョウ
 - ・アカミミガメ(ミシシッピアカミミガメ)
- 6 海老名市内で発見された希少種……………P7**
 - ・ドジョウ
 - ・トノサマガエル
- 7 私たちにできること……………P8**
- 8 今回発見された植物・動物……………P9～12**

えびな生きもの大調査2021について

1 調査概要

市内を巡り身近な自然環境に触れながら、生き物・樹木及び花などを探し、見つけた生きものを4つのジャンル別に絵や写真で記録するもの。

2 実施期間

令和3年6月1日（火）～ 令和3年8月31日（火）

3 提出状況について

未就学児	小学生	中学生	一般	合計
18名	193名	2名	18名	231名

4 実施結果（概要）

区分	発見種類数	発見された主な動物
植物	81種	あじさい、たんぽぽ、ひまわり
昆虫	63種	ショウリョウバッタ、モンシロチョウ
鳥・その他の動物	44種	スズメ、しらさぎ、アメリカザリガニ
魚・両生類・は虫類	27種	アマガエル、コイ、カナヘビ

5 えびな生きものマップについて

今回提出いただいた調査結果でえびな生きものマップ（→P. 2へ）を作成しました。

生きものマップの中には、発見した主な生きもののほかに、4種類（植物、昆虫、鳥・その他の動物、魚・両生類・は虫類）のうち、多く発見された種類を左の表のようにまとめています。



提出されたイラスト

多く発見された種類（上位2種類）と発見件数

発見された主な場所

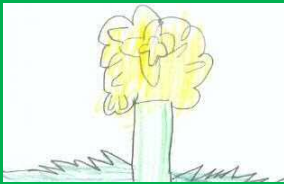
えびな生きもののマップ2021

植物



あじさい 33件

主な発見場所：中新田



たんぽぽ 15件

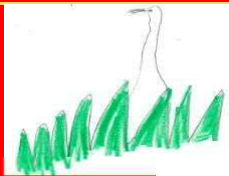
主な発見場所：門沢橋

鳥・その他動物



スズメ 43件

主な発見場所：めぐみ町



しらさぎ 20件

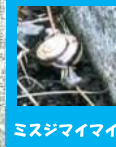
主な発見場所：今里



ホトトギス



ほたるぶくろ



ミスジマイマイ



とんび



コクワガタ



ハグロトンボ

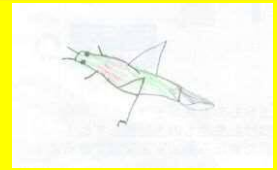


シロツメクサ



アオタイショウ

昆虫



ショウリョウバッタ 26件

主な発見場所：上郷



モンシロチョウ 22件

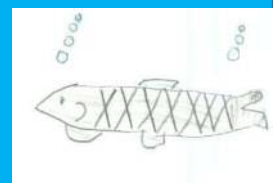
主な発見場所：国分北

魚・両生類・は虫類



アマガエル 51件

主な発見場所：河原口



コイ 33件

主な発見場所：国分北

せいぶつたようせい 生物多様性とSDGs

生物多様性とは、生きものたちの豊かな個性とつながりのことを言います。
地球上の生物は 40 億年という歴史の中で、様々な環境に適応し進化し続けた結果
3000 万種ともいわれる多様な生物が生まれました。

これらの生命は一つひとつに個性があり、全て直接に、間接的に支えあっています。
近年この生物多様性は、乱獲による数の減少や外来種による生態系の影響によって
地球規模で損失と劣化が進んでいます。

このことから、SDGsでは15番目の目標としても下のような目標が掲げられて
います。

参照：環境省「みんなで学ぶ、みんなで守る生物多様性」より



目標 15【陸の豊かさも守ろう】

陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処ならびに土地の劣化の防止の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する。

この目標は、持続可能な形で森林を管理し劣化した土地を回復し、自然生息地の劣化を食い止め、生物多様性の損失に終止符を打つことに注力するものです。

これらの取り組みを全て取り組むことができれば、森林その他の生態系に直接依存する人々の生計を守り、生物多様性を豊かにし、これらの天然資源の恩恵を次の世代に繋げることができます。

参照：農林水産省 HP「SDGs17 の目標と 169 のターゲット」より

SDGs（エス・ディー・ジーズ）とは？

Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）の略で、平成 27(2015)年 9 月の国連サミットで採択された、17 のゴールと、ゴールごとに設定された合計 169 のターゲットから構成されている、人類及び地球の持続可能な開発のために達成すべき課題とその具体目標であり、令和 12(2030)年までに実行、達成すべき事項を整理したものです。

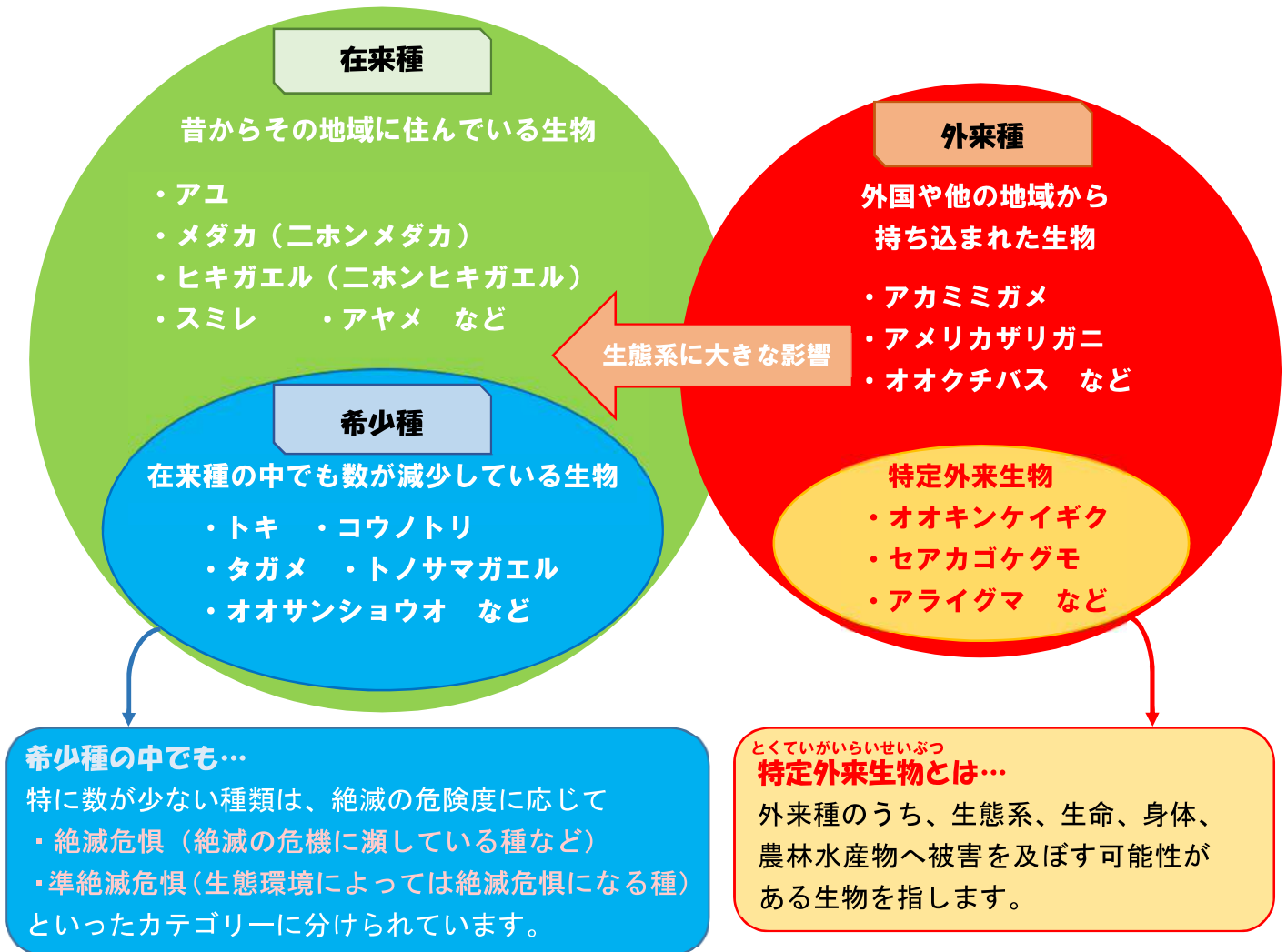


参照：海老名市「海老名市第三次環境基本計画」より

ざいらいしゅ がいらいしゅ 在来種と外来種

外来種は外国や他の地域から持ち込まれた生物の事を指し、ほとんどの外来種は人間の手によって持ち込まれたものです。

外来種は、昔からその地域に住んでいる在来種を食べたり、住みかを奪うなどして生態系が大きく壊してしまう恐れがあります。



生態系とは？

生物間の相互関係と水、空気、光などの生物を取り巻く環境間の相互関係を総合的にとらえた生物社会のまとまりのことです。

参照：環境省 HP「日本の外来種対策」

同上「レッドリストのカテゴリー」より

次ページから今回の調査で発見された外来種・希少種をご紹介します→

海老名市内で発見された主な外来種

特定外来生物

キク科 体 長：30cm～70cm 原産地：北アメリカ

オオキンケイギク

どんな植物

初夏に花を咲かせる多年草です。
花びらの色は黄橙色で、花の中央部も同じ色ですが品種によっては、基部が紫褐色のものもあります。
多年草であり、種子が地中で生き残るため、同じ場所に何年も生える可能性があります。
北アメリカ原産の植物ですが、日本のほかにも台湾やニュージーランドでも定着しています。



住んでいる場所

- ・河川敷や線路際などの荒地や海岸
- ・海老名市内では、本郷で発見されました。

在来種への影響・被害

高い繁殖能力を持っており、他の植物の飼育場所を奪ってしまう恐れがあります。

どうやって日本に来たの？

1880年代に観賞用や土地の緑化植物として日本に導入され、現在では、日本全国に定着しており、完全な駆除は非常に難しい状況にあります。
造成地、土手、道路や線路わきなどの土地に集団で生えているのが見られます。

緊急指定外来種

十脚目アメリカザリガニ科 体 長：約15cm 原産地：アメリカ合衆国

アメリカザリガニ

どんな動物

アメリカザリガニは汚れた水や高温水に強い生物で、冬は水辺の土中にもぐって冬を越し、寿命は数年あると言われています。
また、ザリガニカビ病を広め、在来種の二ホンザリガニを減少させる恐れもあります。
アメリカ原産の動物ですが、アジア各国やアフリカでも定着しています。



住んでいる場所

- ・田んぼ、用水路、池など流れのない浅い水辺
- ・海老名市内では、河原口などで発見されました。

在来種への影響・被害

なんでもよく食べる動物で在来の小動物や水草などを食べ自分で水草などを引き抜いて自分が暮らしやすい環境を作るため、本来いた在来種の住みかを奪ってしまい生態環境を壊してしまいます。

どうやって日本に来たの？

1929年にウシガエルのエサとしてアメリカ合衆国から初めて輸入され、そこからペット用として飼育されるようになったことから分布が広がり、現在では、日本全国に定着しており、完全な駆除は非常に難しい状況にあります。

特定外来生物

〔 スズメ目チメドリ科 体 長：約25cm 原産地：東南アジア 〕

ガビチョウ

どんな動物

小型の鳥でよくさえずることから、東南アジアではペットとしてよく飼われています。
メガネのような白い縁取りがありますが、非常に大きな声で長くさえずり、森林の低い茂みにいることが多いため、その姿よりも声の方が目立ちます。
東南アジア原産の動物ですが、日本のほかにハワイでも定着しています。



住んでいる場所

- ・森林の中の低い茂み
- ・海老名市内では、国分北で発見されました。

在来種への影響・被害

現在、在来種に対する影響は日本では見られていませんが、ガビチョウが定着しているハワイでは、在来種の小鳥が減少しています。

どうやって日本に来たの？

1970年代のペットブームで日本に輸入され、飼育されるようになりました。その後 1980 年代に九州で野生のガビチョウが発見され、輸入されていた個体が逃げ出しあるいは放たれて野生化したものと思われます。

緊急対策外来種

〔 カメ目ヌマガメ科 甲 長：約28cm 原産地：北アメリカ 〕

アカミミガメ

(ミシシippiaアカミミガメ)

どんな動物

主に水域に生息していますが、水質汚染にも強く、都市部の汚染された河川等にも生息しています。
雑食性で魚や水生昆虫、水生植物など様々な種類を食べます。
北アメリカ原産の動物ですが、現在は全世界で定着しています。



住んでいる場所

- ・河川、湖沼、池や水路など
- ・海老名市内では、国分北などで発見されました。

在来種への影響・被害

同じような場所に住むニホンイシガメに比べ、体が大きくなり、繁殖力も強いので食べ物や住処を奪ってしまいます。

どうやって日本に来たの？

1950年代に、ゼニガメ（ニホンイシガメの子供）の代わりにミドリガメ（アカミミガメの子供）の飼育が全国的に広がり、年間100万匹のミドリガメが輸入されました。その個体が野外に放たれたりしたものが、野生化しました。

海老名市内で発見された主な希少種

準絶滅危惧種

コイ目ドジョウ科 体 長：約15cm

ドジョウ

どんな動物

春から秋にかけて見ることができます。
田んぼの稲の成長を助ける淡水魚であり、
藻類や小動物など様々なものを食べます。
えら呼吸と皮膚呼吸が可能な魚で、
皮膚呼吸を利用して冬の間は、泥の中で過ごします。
2018年に準絶滅危惧種に分類されています。

住んでいる場所

- ・田んぼの底（泥の中）、小川、水路
- ・海老名市内では、中新田などで発見されました。



減少した理由

- ・住処である川や田んぼの減少・汚濁
- ・住処である田んぼ内での農薬の過剰使用によるもの
- ・カラドジョウ（外来種）との生存競争

準絶滅危惧種

無尾目アカガエル科 体 長：約5～8cm

トノサマガエル

どんな動物

水田や池などの水辺で生活しており、基本的に水辺から離れることはありません。
日中は活発に活動しており、昆虫類やアメリカザリガニなどを食べます。
雄雌で体色が異なり、雄は金緑色で、雌は茶褐色になる。おなかには雄雌ともに白色をしている。
2012年から準絶滅危惧種に分類されています。

住んでいる場所

- ・平地や山際にかけた水田や池
- ・海老名市では、上郷などで発見されました。



減少した理由

- ・水田の減少・汚濁
- ・住処である水田内での農薬の散布によるもの

私たちにできること

今回のえびな生きもの大調査 2021 では、海老名市内で多くの生きものが住んでいることが分かりました。その中には、希少種であるドジョウやトノサマガエルも確認できました。

その一方で、生態系に大きく影響を与える外来種も多く住みついていることが分かりました。

外来種による生態系の悪影響と生物多様性の損失をこれ以上防ぐため、私たちが今出来ることを考えていきましょう。

ペットを野外に放さないで！

今回発見されたガビチョウやアカミミガメは、もともとペットとして輸入され飼われていたものが放されたり逃げたりしたものが野生化して日本に定着しました。

ペットショップなどで動物の赤ちゃんを見ると、つい飼いたくなってしまうことがあります。最後まで自分が責任をもって飼えるかどうかよく考えたうえで、ペットを飼うようにしましょう。

そして、飼ったペットは決して野外に放さないようにしましょう。

○外来種被害を予防する三原則

・ 入れない

外来種をむやみに日本に**入れない**。

・ 捨てない

ペットとして飼っている外来種を野外に**捨てない**。

・ 拡げない

野外にいる外来種はこれ以上増やさない。

また、他の地域に**拡げない**。

参照：環境省 HP「日本の外来種対策」より

今回発見された植物・動物

() 内の数字は発見件数

項目別に五十音順で並んでいます

植物

- ・アーティーチョーク (1 件)
- ・アカツメクサ (1 件)
- ・アガパンサス (1 件)
- ・アサガオ (1 1 件)
- ・アザミ (1 件)
- ・アジサイ (3 3 件)
- ・アヤメ (1 件)
- ・アレチハナガサ (1 件)
- ・イヌビワ (1 件)
- ・イネ (1 件)
- ・エノコログサ (2 件)
- ・オオイヌノフグリ (1 件)
- ・オオキンケイギク (1 件)
- ・オシロイバナ (5 件)
- ・オリーブ (1 件)
- ・ガウラ (1 件)
- ・カタバミ (1 件)
- ・キバナコスモス (1 件)
- ・キンシバイ (1 件)
- ・クローバー (1 件)
- ・コウホネ (2 件)
- ・コスモス (1 件)
- ・コブアセタケ (1 件)
- ・サクラ (2 件)
- ・サルスベリ (2 件)
- ・シイ (1 件)
- ・シロツメクサ (1 3 件)
- ・シロバナタンポポ (1 件)
- ・セイヨウタンポポ (1 件)
- ・タイサンボク (1 件)
- ・タチアオイ (1 件)
- ・タンポポ (1 5 件)
- ・ツツジ (1 件)
- ・ツバキ (1 件)
- ・ツユクサ (1 件)
- ・ツルニチソウ (1 件)
- ・トウミョウ (1 件)
- ・トウモロコシ (2 件)
- ・トクサ (1 件)
- ・ドクダミ (5 件)
- ・トマト (1 件)
- ・ナス (1 件)
- ・ニチニチソウ (3 件)
- ・ネコジャラシ (6 件)
- ・ネジバナ (1 件)
- ・ノギク (1 件)
- ・バラ (3 件)
- ・ハルジオン (1 4 件)
- ・ハルシャギク (1 件)
- ・ハンゲショウ (1 件)
- ・パンジー (2 件)
- ・ヒマワリ (1 4 件)
- ・ビードロモウズイカ (1 件)
- ・ピーマン (2 件)
- ・ヒドコート (1 件)
- ・ヒメツルソバ (1 件)
- ・ヒルガオ (3 件)
- ・ブラックベリー (2 件)
- ・ベコニア (1 件)
- ・ヘチマ (2 件)
- ・ヘビイチゴ (1 件)
- ・ハウセンカ (4 件)
- ・ホタルブクロ (1 件)
- ・ボタンクサギ (2 件)
- ・マツ (1 件)
- ・マツボックリ (1 件)
- ・マーガレット (1 件)
- ・マリーゴールド (4 件)
- ・ミツバ (1 件)
- ・ミニトマト (1 件)

植物

- ・ムクゲ（3件）
- ・ムラサキカタバミ（1件）
- ・ヤブミョウガ（1件）
- ・ヤマボウシ（1件）
- ・ヤマユリ（1件）
- ・ヨモギ（1件）
- ・ラベンダー（2件）
- ・レンゲソウ（1件）
- ・ユウゲショウ（1件）
- ・ワスレグサ（1件）
- ・ワルナスビ（1件）
- ・その他（名称不明）（1件）

昆虫

- ・アオスジアゲハ（2件）
- ・アオモンイトトンボ（1件）
- ・アキアカネ（1件）
- ・アゲハチョウ（4件）
- ・アゲハモドキ（1件）
- ・アシダガグモ（1件）
- ・アブラゼミ（1 1件）
- ・アメンボ（3件）
- ・アリ（1 3件）
- ・アリグモ（1件）
- ・ウメエダシヤク（2件）
- ・オオシオカラトンボ（2件）
- ・オンブバッタ（2件）
- ・ガ（4件）
- ・カナブン（8件）
- ・カブトムシ（8件）
- ・カマキリ（7件）
- ・カミキリムシ（2件）
- ・カメムシ（4件）
- ・カラスアゲハ（1件）
- ・キタテハ（1件）
- ・キマダラカメムシ（1件）
- ・キリギリス（1件）
- ・クロウリハムシ（1件）
- ・クワガタ（5件）
- ・ゲンゴロウ（1件）
- ・ゲンジボタル（1件）
- ・コウカアブ（1件）
- ・コオニヤンマ（1件）
- ・コガネムシ（1件）
- ・コクワガタ（3件）
- ・ゴマダラカミキリ（3件）
- ・シオカラトンボ（1件）
- ・シデムシ（1件）
- ・ジャコウアゲハ（1件）

昆虫

- ・ ショウリョウバッタ (26件)
- ・ スズメガ (1件)
- ・ スズメバチ (4件)
- ・ セスジスズメ (2件)
- ・ セミ (8件)
- ・ タマムシ (2件)
- ・ ダンゴムシ (10件)
- ・ チョウ (7件)
- ・ テントウムシ (11件)
- ・ トウキョウヒメハンミョウ (1件)
- ・ トノサマバッタ (2件)
- ・ トンボ (4件)
- ・ ナナホシテントウムシ (2件)
- ・ ノコギリクワガタ (2件)
- ・ ハグロトンボ (5件)
- ・ ハサミムシ (1件)
- ・ ハチ (4件)
- ・ フタモンクロテントウ (1件)
- ・ ベニシジミ (1件)
- ・ ミツバチ (3件)
- ・ ミノムシ (1件)
- ・ ミンミンゼミ (1件)
- ・ モモスズメ (1件)
- ・ モンシロチョウ (22件)
- ・ ヤマトタマムシ (1件)
- ・ ヤマトヤブカ (1件)
- ・ その他 (名称不明) (1件)

鳥・その他の動物

- ・ アオサギ (3件)
- ・ アカオモズ (1件)
- ・ アマサギ (2件)
- ・ アメリカザリガニ (19件)
- ・ イソヒヨドリ (1件)
- ・ イタチ (1件)
- ・ イヌ (1件)
- ・ イワツバメ (1件)
- ・ ウグイス (3件)
- ・ ウサギ (2件)
- ・ エビ (1件)
- ・ オナガ (2件)
- ・ カタツムリ (7件)
- ・ ガビチョウ (1件)
- ・ カルガモ (15件)
- ・ カラス (20件)
- ・ カワウ (2件)
- ・ カワニナ (1件)
- ・ コウモリ (1件)
- ・ コゲラ (1件)
- ・ コサギ (2件)
- ・ ザリガニ (2件)
- ・ シジュウカラ (3件)
- ・ シラサギ (20件)
- ・ スズメ (43件)
- ・ セグロセキレイ (1件)
- ・ ダイサギ (1件)
- ・ タヌキ (2件)
- ・ ツバメ (11件)
- ・ トビ (2件)
- ・ スマエビ (1件)
- ・ ネコ (16件)
- ・ ハクセキレイ (10件)
- ・ ハト (17件)
- ・ ヒガラ (1件)

鳥・その他の動物

- ・ハウネンエビ（2件）
- ・ホトトギス（1件）
- ・ホンドタヌキ（1件）
- ・ミミズ（1件）
- ・モグラ（1件）
- ・ムクドリ（10件）
- ・メジロ（1件）
- ・モルモット（1件）
- ・その他（名称不明）（2件）

魚・両生類・は虫類

- ・アカミミガメ（2件）
- ・アオガエル（1件）
- ・アオダイショウ（2件）
- ・アマガエル（51件）
- ・アブラハヤ（2件）
- ・アユ（2件）
- ・イモリ（1件）
- ・オタマジャクシ（15件）
- ・カダヤシ（1件）
- ・カナヘビ（17件）
- ・カメ（11件）
- ・キングヨ（7件）
- ・コイ（33件）
- ・シマヘビ（2件）
- ・タニシ（2件）
- ・トカゲ（22件）
- ・ドジョウ（8件）
- ・トノサマガエル（2件）
- ・ナマズ（2件）
- ・ニホントカゲ（8件）
- ・ニホンヤモリ（1件）
- ・ハゼ（1件）
- ・フナ（1件）
- ・ヘビ（3件）
- ・ミスジマイマイ（1件）
- ・メダカ（14件）
- ・ヤモリ（9件）

えびな生きもの大調査調査報告書

発行：令和4年2月

編集：海老名市経済環境部環境政策課

〒243-0492 海老名市勝瀬 175 番地の 1

